



●内側(三つ折り)イメージ



宮城県

宮城県は、日本の首都東京から300km北東、東北地方の中心に位置します。県庁所在地の仙台市は東経141°、北緯38°で、サンフランシスコやアテネなど世界の主要都市と同緯度上にあります。

東は太平洋に面し、豊かな漁場と日本三景の一つ松島をはじめとする観光明媚な観光地などに恵まれています。西には確工・船形・栗駒などの山々が連なり四季折々の姿を見せ、中央部には有数の観音地、仙台平野が広がります。このように海・山・川・平野が調和した自然環境が、豊かで暮らしやすい宮城県をつくりだしています。



宮城県章
真鍮製。県内に産出されている「ミヤギノハナ」を模範とし、みぎの日本を意味する「ミ」を組み合わせています。



宮城県の鳥(ガン)
宮城県は日本国内で最も多くの鴨を産出する県で、鴨を県鳥として指定されている。県鳥指定は平成10年である。2007年(平成19年)に改定。



宮城県の花(ミヤギノハナ)
日本の花・新華に多く採りあげられる花で、赤や白の可憐な花を咲かせます。(昭和24年7月22日 指定)

500円ハイカラー・クラッド貨幣

ハイカラー・クラッド貨幣とは、2種類の異なる金属を組み合わせた「ハイカラー」金属と、金属と異なる種類の合金板で覆った「クラッド」金属を組み合わせたものです。

(宮城県)表画『仙七塔まつり』

○仙七塔まつり表画デザインについて
仙七塔まつり：甲府に創られた「仙七塔まつり」の夏の風物詩、吹き出しや花びら、のどかな曲線から1,500本を超える竹藪がアーケードのように伸び、青森の松、秋田の杉ととも東北三大夏まつりの一つとして、例年8月7日～8月8日・8日・9日の3日間にかけて開催される。

(各都道府県共通)

裏面『古銭のイメージ』

500円ハイカラー・クラッド貨幣の概要

額面	500円
材質	銅・アルミニウム合金、銅及び銅合金
厚さ	約1.9mm、中央12.9mm、円周約4.12mm
直径	23.62mm
重量	25.50g(メートル)
その他特徴	異形付不平等、磨練等